

ノーマン・Y・ミネタ 元米国運輸長官

かつての米国運輸長官と商務長官として培った経験を生かし、ノーマン・Y・ミネタは現在、アメリカン航空のアドバイザーとして、国際航空問題、特に日本に関わる航空案件や日米オープンスカイ協定の実現に向けた取り組みに携わっています。

カリフォルニア州サンノゼ出身であり、日本生まれで米国へ移住した父親を持つ。米国陸軍の将校として韓国と日本で任務を果たした後、米国へ帰国。民間企業のビジネスマンとして成功を収めた後、サンノゼ市職員としてさまざまな職務を歴任。1971年にはサンノゼ市長に当選し、米国の主要都市で市長に選出された初のアジア系米国人となりました。

1974年に下院議員に当選して以来、次々と重要な地位を得て、1981年～1988年には航空小委員会議長、1992年～1995年には公共事業・輸送委員会議長を務めました。下院議員として20年、すなわち10期を務めた後、ロッキード・マーティン社の副社長として民間企業に復帰しましたが、2000年7月にはビル・クリントン政権の下で商務長官に就任。アジア系米国人の閣僚入りは米国史上初めてのことでした。

2001年1月25日、ジョージ・W・ブッシュ政権の下で第14代運輸長官に就任し、その在任期間は運輸省史上最長の6年間に達しました。ノーマン・Y・ミネタ・サンノゼ国際空港は彼の名にちなんで命名されたものです。

現在、ワシントンDCのヒルアンドノルトン社にて副会長を務めています。